

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅵ		演習・講義	小堀 博史	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
本講義では、理学療法士が行う理学療法評価や、その内部に含まれる検査測定として最もよく行われる「姿勢観察」「動作観察」を主に扱う。内容は理学療法評価の進め方や臨床推論による情報の捉え方、観察方法の基礎から実践、記録方法等が含まれる。講義を通じて自ら能動的に情報収集を図り、情報の取り扱い方を考え、理学療法評価を実践していく力を養うことを目的とする。				
授業の到達目標				
理学療法評価の概要を理解し、自ら理学療法評価の実践まで展開することができる。 各姿勢・動作における運動学的特徴を把握し、観察から記録までの一連の過程を自ら実践することができる。 観察結果からその成因を分析し、検査測定への繋がりを想起することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	評価総論①（理学療法評価 概要）			
2	評価総論②（理学療法評価の進め方・情報収集）			
3	評価総論③（理学療法評価 捉え方）			
4	姿勢観察・分析①（立位）			
5	姿勢観察・分析②（立位）			
6	姿勢観察・分析③（座位）			
7	姿勢観察・分析④（臥位・体圧分散）			
8	動作観察・分析①（立ち上がり）			
9	動作観察・分析②（立ち上がり）			
10	動作観察・分析③（起き上がり）			
11	動作観察・分析④（起き上がり）			
12	動作観察・分析⑤（歩行）			
13	動作分析・分析⑥（歩行）			
14	動作観察・分析⑦（歩行）			
15	評価総論④（臨床推論・まとめ）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	50%			
レポート・課題	40%	不定期で講義時間中・自宅学習にて記録物の作成を求めることがある。		
小テスト				
平常点	10%	講義への参加態度で評価を行う。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第4版		内山靖 岩井信彦	医学書院	
PT・OTビジュアルテキスト 姿勢・動作・歩行分析 第2版		畠中泰彦	羊土社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
解剖学・生理学・運動学に基づく動作分析		奈良勲	医歯薬出版株式会社	
症例動作分析 動画から学ぶ姿勢と動作		隈元庸夫	ヒューマン・プレス	
動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析 第2版		西守隆	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
備考				
臨床で求められる姿勢動作の基礎・観察法を学びます。積極的に参加すること。				